地域計画

策定年月日									
更新年月日	()								
目標年度	令和16年度								
市町村名	南あわじ市								
(市町村コード)	28224								
地域名	湊里								
(地域内農業集落名)	(地蔵、里東、中央東、湊中央、中才、空所、岡西、岡東)								

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域) 24.5 ha								
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 21.8 ha								
② 田の面積	24.3 ha							
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.2 ha							
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.3 ha							
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合	計 0 ha							
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.2 ha							
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha							
(備考)								

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 - 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 - 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 - 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、 備考欄にその旨記載してください。
 - 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 - 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域においては、たまねぎを中心とした露地野菜による農業経営を営む農家が多い。地域内農地については、ぼ場整備事業がほぼ完了しており、後継者がいる経営体も多く、裏作などについても耕作を希望する農業者が十分にいることから優良農地を含め、放棄田の発生はない。

一方で山際と隣接しておりイノシシ被害が深刻化している中、捕獲数が少なく対策に苦慮している。更に中山間地域であることから畦の面積が広く草刈り作業が重労働となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地域においては水稲とたまねぎの作付けが中心となっている。畜産農家も地域内にいるため、WCS用稲を作付けして飼料作物と堆肥との交換による耕畜連携を推進し、化学肥料の低減を図る。

将来的には農業を担う者が減少していくため、中山間地域の管理についても地域全体で取り組む必要があることから中山間地域等直接支払交付金制度の活用も検討し、多くの労力が必要な畦の管理等を軽減できるような体制づくり を構築する。

また、中山間地域における労働力の確保に加え、生産コストの低減を図るための農業用機械の共同化、共同経営などの計画について検討し、地域活性化に取り組んでいく。

ながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
若手・大規模農家の4名を中心に効率的に集約する。 (2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標 現状の集積率 29.6 % 将来の目標とする集積率 29.6 % (3)農用地の集団化(集約化)に関する目標 上記4名を中心に話を進め、地図を利用して集団化を図る。 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 (1)農用地の集積、集団化の取租 お互いに情報共再をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。(現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2)農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3)基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4)多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行ながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ①鳥獣被害防止対策 □ ②名権、減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ②息農業用施設 □ ③耕畜連携等 □ ⑩その他 [選択した上記の取組内容] ① ①の標に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲権設置数を増加させる。 ② ②飼料作物(WCS用租)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めている。 ② ③飼料作物(WCS用租)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めていてい。 ③ 自動験於シスム人付き下分々など労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。	2	農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標											
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標 現状の集積率 29.6 % 将来の目標とする集積率 29.6 % (3)農用地の集団化(集約化)に関する目標 上記4名を中心に話を進め、地図を利用して集団化を図る。 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 (1)農用地の集積、集団化の取組 お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。(現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2)農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3)基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4)多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② 自農財被害防止対策 ② ②有機「減農薬・減肥料」② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ②作機「減農薬・減肥料」② ③及マート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ②保全・管理等 ② ⑥農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 [選択した上記の取組内容] ① 山の裾に鳥散被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲権設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
現状の集積率 29.6 % 将来の目標とする集積率 29.6 % (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標 上記4名を中心に話を進め、地図を利用して集団化を図る。 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 (1) 農用地の集積、集団化の取組 お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。 (現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2) 農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行ながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「② ①鳥獣被害防止対策 「② ②有機・減農薬・減肥料 「② ③スマート農業 「□ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 「② ⑦保全・管理等 「② ③農業用施設 「② 卵耕畜連携等 □ ⑩その他 「選択した上記の取組内容」 ① ① 印象に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲艦設置数を増加させる。 ② ② 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働カ不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		若手・大規模農家の4名を中心に効率的に集約する。											
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標 上記4名を中心に話を進め、地図を利用して集団化を図る。 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 (1) 農用地の集積、集団化の取組 お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。 (現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2) 農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の武法化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行ながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ 4畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲艦設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行つてより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標											
上記4名を中心に話を進め、地図を利用して集団化を図る。		現状の集積率 29.6 % 将来の目標とする集積率 29.6 %											
3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 (1) 農用地の集積、集団化の取組 お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。 (現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2) 農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行ながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ① 息獣被害防止対策 ② ② 名機・減農薬・減肥料 ② ③ スマート農業 □ @畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の稲に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲艦設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS)用稿)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標											
(1) 農用地の集積、集団化の取組 お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。 (現状は農業ができななったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2) 農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 [選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲権設置数を増加させる。 ② ② 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってまり、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働カ不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		上記4名を中心に話を進め、地図を利用して集団化を図る。											
(1) 農用地の集積、集団化の取組 お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。 (現状は農業ができななったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2) 農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 [選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲権設置数を増加させる。 ② ② 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってまり、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働カ不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
お互いに情報共有をし、高齢者との会話を大切にして農用地の集積、集団化を進めていく。 (現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2)農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3)基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4)多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ②保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲艦設置数を増加させる。 ②・⑨飼料作物(NCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働カ不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。	3	農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置											
(現状は農業ができなくなったら、所有者が農地の借り手を探して頼んでいたが、今後は地域全体で検討する) (2) 農地中間管理機構の活用方法 利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① 自農散被害防止対策 □ ② 名機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ②保全・管理等 □ ② 懇農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 [選択した上記の取組内容] ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲艦設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働カ不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3)基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4)多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS)用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
利用権設定が終了となった農地から農地中間管理機構へ農地を預けていく。 (3) 基盤整備事業への取組 区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等□ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		 (2)農地中間管理機構の活用方法											
区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ① 息獣被害防止対策 ② ② 名機・滅農薬・減肥料 ② ③ スマート農業 ③ ④畑地化・輸出等 ⑤ ・													
区域内の大部分は基盤整備が完了している。 (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ① 息獣被害防止対策 ② ② 名機・滅農薬・減肥料 ② ③ スマート農業 ③ ④畑地化・輸出等 ⑤ ・													
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① ①鳥獣被害防止対策 □ ② ② 有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ① 山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨ 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働カ不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		区域内の大部分は基盤整備が完了している。 											
ながら検討していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ①鳥獣被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		(4) 多様な経営体の確保・育成の取組											
担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ① 自然被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨ 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		個人農家の法人化や農業機械の共同化・集落営農組織の設立などについて、若手・担い手中心に情報交換を行いながら検討していく。											
担い手に作業委託を行い、水稲等の管理を行う。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ② ① 自然被害防止対策 ② ②有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 ② ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨ 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		 (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業季託の取組											
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① ① ① 息獣被害防止対策 ② ② 有機・減農薬・減肥料 ② ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 ② ② ⑦保全・管理等 ② ② ② 製農業用施設 ② ② 到耕畜連携等 □ ① その他 【選択した上記の取組内容】 ① 山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ② 飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
□ ① ① 息獣被害防止対策 □ ② 有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ① 山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ② ⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③ 自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
□ ⑥燃料・資源作物等 ☑ ⑦保全・管理等 ☑ ⑧農業用施設 ☑ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ②⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行っており、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)											
【選択した上記の取組内容】 ①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ②⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		□ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ②											
①山の裾に鳥獣被害防止網の設置を行っているので、状況確認の回数を増やし、適切な管理を行う。また、捕獲檻設置数を増加させる。 ②⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		□ ⑥燃料·資源作物等 □ ⑦保全·管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他											
設置数を増加させる。 ②⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってより、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
②⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってまり、減肥料の取組みを進めていく。 ③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。													
③自動操舵システム付きトラクタなど労働力不足解消に寄与するスマート農機について研究し、導入を進める。		②⑨飼料作物(WCS用稲)を畜産農家に供給し、畜産農家から堆肥を地域内の農地に還元する循環農業を行ってお											
- ①夕田川成化又仏又川並町反にはぬに収り恒ひているか、芯勾癿の辰地についてはず及、地域で品し口いて口い		③自動操舵ンステム付きトラクタなど労働力不定解消に奇与するスマート晨機について研究し、導入を進める。 ⑦多面的機能支払交付金制度には既に取り組んでいるが、急勾配の農地については今後、地域で話し合いを行い、											
中山間地域等直接支払交付金制度に取り組んでいけるよう検討していく。		中山間地域等直接支払交付金制度に取り組んでいけるよう検討していく。											
(8)農業用機械の共同化を進めるため、その機械等を保管する倉庫などが必要となってくるが、新築については費用 が嵩むため、地域内で活用されていない倉庫などの利活用を検討する。		⑧農業用機械の共同化を進めるため、その機械等を保管する倉庫などが必要となってくるが、新築については費用 が嵩むため、地域内で活用されていない倉庫などの利活用を検討する。											

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	農業を担う者		現状		10年後 (目標年度:令和 16 年度)							
属性	(氏名•名称)	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等		作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考			
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
	別紙のとおり											
			ገ.ገ ሀ/ፑ/ሶ		05 /							
			па	па		Πu	пи					
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
			ha	ha		ha	ha					
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha					

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する 集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は 「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、 経営面積に含めてください。
- 5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。
- 5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名·名称)	作業内容	対象品目
1		収穫、定植、管理	野菜
2		WCS用稲の委託	WCS用稲
3		WCS用稲の委託	WCS用稲

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

				明状 10年後								
		農業を担う者	77.1八				(目標年度:令和 16 年度)					
		(氏名•名称)	経営作目等	経営	面積	作業受託 面積	経営作目等	経営	面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1[利用者		露地野菜	0.39	ha	ha	露地野菜	0.39	ha	ha	1	
-,	利用者		露地野菜	0.3	ha	ha	露地野菜	0.3	ha	ha	2	
3	利用者		露地野菜	0.57	ha	ha	露地野菜	0.57	ha	ha	3	
4	認農		露地野菜	0.42	ha	ha	露地野菜	0.44	ha	ha	4	
	利用者		露地野菜	0.54	ha	ha	露地野菜	0.54	ha	ha	5	
- 1	利用者		露地野菜	0.38	ha	ha	露地野菜	0.38	ha	ha	6	
7 L	利用者		露地野菜	0.43	ha	ha	露地野菜	0.43	ha	ha	7	
- 1	利用者		露地野菜	0.2	ha	ha	露地野菜	0.2	ha	ha	8	
9	利用者		露地野菜	0.8	ha	ha	露地野菜	0.73	ha	ha	9	
이	認農		露地野菜	3.2	ha	ha	露地野菜	3.2	ha	ha	10	
	利用者		露地野菜	0.1	ha	ha	露地野菜	0.1	ha	ha	11	
- 1	利用者		露地野菜	0.09	ha	ha	露地野菜	0.03	ha	ha	12	
- 1	利用者		露地野菜	0.39	ha	ha	露地野菜	0.39	ha	ha	13	
	利用者		露地野菜	0.37	ha	ha	露地野菜	0.37	ha	ha	14	
	利用者		露地野菜	0.08	ha	ha	露地野菜	0.08	ha	ha	15	
	利用者		露地野菜	0.15	ha	ha	露地野菜	0.15	ha	ha	16	
7	利用者		露地野菜	1.14	ha	ha	露地野菜	1.14	ha	ha	17	
8	認農		露地野菜	0.17	ha	ha	露地野菜	0.17	ha	ha	18	
9	利用者		露地野菜	0.31	ha	ha	露地野菜	0.27	ha	ha	19	
ᅃ	利用者		露地野菜	0.33	ha	ha	露地野菜	0.33	ha	ha	20	
1 📙	認農		露地野菜	0.89	ha	ha	露地野菜	0.95	ha	ha	21	
2	利用者		自家野菜	0.11	ha	ha	自家野菜	0.11	ha	ha	22	
3	利用者		露地野菜	1.09	ha	ha	露地野菜	1.16	ha	ha	23	
4	認農		露地野菜	0.45	ha	ha	露地野菜	0.45	ha	ha	24	
	利用者		露地野菜	0.47	ha	ha	露地野菜	0.41	ha	ha	25	
	利用者		露地野菜	0.3	ha	ha	露地野菜	0.3	ha	ha	26	
	利用者		露地野菜	0.47	ha	ha	露地野菜	0.44	ha	ha	27	
	利用者		露地野菜	0.24	ha	ha	露地野菜	0.15	ha	ha	28	
9	利用者		露地野菜	0.13	ha	ha	露地野菜	0.13	ha	ha	29	
0	利用者		露地野菜	0.21	ha	ha	露地野菜	0.21	ha	ha	30	
1	認農		露地野菜	0.22	ha	ha	露地野菜	0.22	ha	ha	31	
2	利用者		露地野菜	0.13	ha	ha	露地野菜	0.13	ha	ha	32	
3	利用者		露地野菜	0.25	ha	ha	露地野菜	0.25	ha	ha	33	
4	認農		露地野菜	0.53	ha	ha	露地野菜	0.56	ha	ha	35	
5	認農		露地野菜	0.14	ha	ha	露地野菜	0.14	ha	ha	36	
6	利用者		露地野菜	0.43	ha	ha	露地野菜	0.46	ha	ha	37	
7	認農		露地野菜	1.15	ha	ha	露地野菜	1.23	ha	ha	38	
	利用者		露地野菜	0.22	ha	ha	露地野菜	0.22	ha	ha	39	
	利用者		露地野菜	0.19	ha	ha	露地野菜	0.19	ha	ha	41	
					ha	ha			ha	ha		
Γ	計			17.98	3 ha	0 ha		17.92	2 ha	0 ha		